

第1回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	平成28年4月22日（金曜）午後3時00分から午後4時20分まで
会場	市役所本館 6階 講堂
出席者	<p>委員</p> <p>藤田委員, 清水委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 渡部委員, 本間(之)委員, 青木委員, 廣瀬委員, 川崎委員, 伊藤委員, 竹田委員, 志賀委員, 大堀委員, 関谷委員, 三條委員, 菊地委員, 佐藤委員, 水品委員, 豊嶋委員, 津吉委員, 津田委員, 長谷川委員, 南雲委員, 杉原委員, 李委員, 小島委員, 岩田委員, 田村(勝)委員, 肥田野委員, 渡辺委員, 大坂委員</p> <p>出席 34名 欠席 4名(中村委員, 星野委員, 本間(伸)委員, 井上委員)</p> <p>事務局</p> <p>[新潟市教育委員会] 教育総務課長 [中央区役所] 区長, 副区長, 区民生活課長, 健康福祉課長, 保護課長, 建設課長, 東出張所長, 南出張所長, 地域課長, 地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○会議の成立について 委員 38名中 34名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝豊嶋会長）</p> <p>（1）中央区自治協議会委員推薦会議座長の専決処分について （資料 議1）</p> <p>（議 長） 本日配付いたしました次第をご覧ください。議事が4件, 報告が3件でございます。次第に沿って会議を進めてまいりたいと思いますので, ご協力をよろしく願います。</p> <p>それでは, 議事「(1) 中央区自治協議会委員推薦会議座長の専決処分について」でございます。中央区自治協議会委員推薦会議座長の田村(勝)委員から説明をお願いいたします。</p> <p>（田村(勝)委員） 委員の田村でございます。</p> <p>資料議1をご覧ください。新潟市小中学校PTA連合会から選出されておりました相田委員が, 昨年度をもちまして選出団体の構成員でなくなりました。選出団体の構成員でなくなったことにより, 自治協議会委員について失職することとなりました。つきまして, 団体選出委員等が任期中に欠けることに伴い, 速やかに新しい委員を選出する必要があります。同団体から南雲保子さんの推薦がありました。この推薦を受けまして, 中央区自治協議会委員推薦会議運営要綱第7条第1項及び第2項の規定に基づき, 座長による専決処分を行い, 委員推薦会議の構成員へ報告を行</p>

いました。以上でございます。

(議 長)

ありがとうございました。

なお、座長専決処分を受けて、中央区自治協議会として市長へ委員選任の推薦を行い、正式に委嘱されたことをここにご報告いたします。

ここで、新たに委員に選任されました南雲委員より一言ご挨拶を頂きたいと思っております。南雲委員、よろしくお願いいたします。

(南雲委員)

新潟市小中学校 PTA 連合会にて副会長を務めさせていただいております南雲保子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(議 長)

ありがとうございました。

なお、南雲委員には事前に所属する部会についてお伺いしておりまして、「人にやさしい暮らしのまち部会」をご希望ということでございました。皆さまと同様に、ご希望の部会へ所属することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

(2) 平成 27 年度 中央区自治協議会提案事業について

(資料 議 2-1 2-2 2-3)

(議 長)

次に、議事「(2) 平成 27 年度中央区自治協議会提案事業について」でございます。区自治協議会提案事業に向けて各部会において取り組んでいるところではございますが、「拠点と賑わいのまち部会」、「人にやさしい暮らしのまち部会」、「水辺とみなとのまち部会」でそれぞれの報告書がまとまりましたので、ご報告いたします。なお、ご質問等がありましたら、三つの部会の報告後にまとめてお受けしたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、「拠点と賑わいのまち部会」座長の浅野委員からご報告をお願いいたします。

①拠点と賑わいのまち部会

(浅野委員)

浅野でございます。

我々の部会として提案事業の報告を申し上げます。「拠点と賑わいのまち部会」が行った提案事業について、皆さまのお手元にある資料議 2-1、グループインタビュー業務調査結果報告書でございます。政令市新潟の中心である中央区は、住む人、訪れる人にとって魅力的な賑わい溢れるまちであることが望まれます。当部会では、こうした活力あるまちのあり方を区民とともに考え、区民の思いとともに中央区の五つの未来像をプランニングすることを目的に、2 ヶ年事業で取り組むことにしました。平成 27 年度の取組みは、部会でまとめた 12 の活性化案を区民に問い

かけ、率直な思いを聞き出すため、グループインタビューを実施しました。年代別や働く女性など6人で4グループを編成し、それぞれ実施しました。世代や生活環境により、それぞれの立場から非常に活発に多くの思いを語っていただき、今後、活性化案をまとめるうえで非常に参考になりました。

お手元の成果品は、グループインタビューの内容をまとめたものです。時間のあるときに一読いただけたら幸いです。今後、このグループインタビューを生かして事業を進めていきたいと思っております。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

次に、「人にやさしい暮らしのまち部会」座長の田村(勝)委員からご報告をお願いいたします。

②人にやさしい暮らしのまち部会

(田村(勝)委員)

「人にやさしい暮らしのまち部会」田村でございます。

お手元のパンフレットに基づいて、概要をかいつまんで説明をさせていただきたいと思っております。後ほど、事業評価の中で内容については詳しく申し上げますが、特に「忘れていませんか？新潟地震から51年たちました」ということで、特に防災につきましましてはいろいろとあるわけでございますけれども、今一度、新潟地震を思い出しながら、また語り伝えていきたいということで、この作成にあたったわけでございます。少し言葉が強いところがございますけれども、やはりインパクトがある内容にしていかないと、なかなか見てもらえないということで、このような言葉遣いになったわけでございます。まず、「自分の命は自分で守ろう！」という見出しを付けております。大規模地震から自分と家族が生きるために、家族みんなで話し合ってみましょうということで、新潟地震を象徴する共同通信社のこの写真を採用させていただきました。下に肝要なことが書いてありますが、「私達は『自助』の観点から、家族で話し合うチェックシートを作成しました。『自助』ができなければ、『共助』にむすびつきません。もしもの時に備えて、防災について考えてみましょう」という表現の表紙になっております。

お聞きいただくと、いろいろな資料で紹介がされております。地震が起きたらすぐ、どのような対応をすればいいのか。あるいは、津波がくるまでの間、どのような対応、備えをすればいいのか。この辺をピンポイントで絞ってまとめているわけですが。右には、「家族で話し合っておくこと」ということで空白になっております。後ほど申し上げますけれども、災害の内容や家族構成によって揃えるものは違ってまいりますので、とにかく家族で緊急時にどのような形で対応するかということを話し合い、ここに記していただきたいという気持ちでまとめてあります。

最後の「わが家の備えのチェックシート」の一番下に、今ほど申し上げましたことを括弧書きでまとめております。「地震、津波、液状化等被害状況は、地域、建物の種類・構造により異なります」。51年前の新潟地震を思い出していただきたいと思っております。地震によって大きな被害を出した地域もありますし、全く被害がなかった地域もございます。また、津波においてもそうでございます。信濃川の左岸、右岸、海に近いところはひどい津波の害を受けたわけでございます。ところが、上

流へ行きますとほとんどない。逆に液状化現象という大変な災害を被った地域があるわけでございます。地域、建物の種類、構造により異なりますと。51年前と家屋の構造はだいぶ変わってきておりますけれども、基本的なことは変わらないという思いでここを整理させていただきました。「また、季節によって備えや対応も異なります」。暖かいときばかりではありません。冬の雪が降ることもあります。また、昼ばかりではありません。夜に地震が起きることもあります。災害に臨機応変に対応していかなければならないということで、赤字で「自分と家族が生き残るために、あわてず臨機応変な対応を心がけましょう。そのための知識は、地域の防災訓練など、いろいろな機会積極的に入手しましょう」ということでくくっております。

このパンフレットにつきましては、513の自治会、町内会の皆さん方に送付済みでございますので、まだお手元に届いていないところがございますら、ご催促を頂きたいと思っておりますし、この件に関しましては、特に1号委員の皆さん方には配布という大きなお手伝いを頂いたこと感謝申し上げます。以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。

次に、「水辺とみなとのまち部会」座長の藤田委員からご報告をお願いいたします。

③水辺とみなとのまち部会

(藤田委員)

ご報告させていただきます。

「水辺とみなとのまち部会」の開港150周年記念事業の調査の概要というのは2年前に遡っているわけです。「水辺とみなとのまち部会」で「北前船時代の新たな街並みづくり」を継承するために、北前船にちなんだ歴史的文化遺産に一層の磨きをかけて、未来の新潟の新たなまちづくりに資するために各事業をやった中の一つが、この開港150周年記念事業等調査でありました。皆さんにわたっているものの1ページをご覧いただきたいと思っております。調査の目的は、一つは、新潟開港150周年に向けて、他都市における開港関連の取組みの特徴や課題などを学ぶために調査しました。調査の視点としては、平成26年度に提言を行った、街並みづくりを受けて、その中の150周年記念に向けた取組みの一貫として行ったものであります。以下、その3点にわたって特徴があります。

一つは、新潟ならではの特徴のアピールのために調査をしているということです。新潟の歴史の文化や風土、食、人材などを掘り下げ、既存の様々な取組みや活動のサポートのほかに新たな取組みの喚起などによって、新潟の特徴を磨き上げていくために、その土地ならではの特徴的な取組み、まちづくりへの波及効果をねらっている状態であると。二つ目が、市民参加による協働の意識、よくいえば醸成です。まちづくりをはじめ様々な取組みにおいて市民参加はもちろん、市民による自律的な取組みを進めるため、市民参加の状況、あるいは行政や関係機関との協働・連携体制、機運醸成や事後持続の方策などを調査しました。3番目に、次世代への育成です。新潟のまちづくりを将来的に担い、持続可能な都市経営や豊かな市民の暮らしにつなげるために、未来世代である子どもたちにも地域と関わりを持って

らうために、子ども向けの教育や演出などについても調査したつもりであります。大きな3の設問項目については表のとおりであります。それぞれ開港記念事業の概要や企画準備がどうだったかとか、実施の事業はどのようなことか、当日の運営についてはどうだったか、波及効果や今後の課題についてはどのようなことがあったか、150周年記念の開催について提言があるかなどを調べてきたということです。

2ページ目は、アンケート調査の状況です。平成28年1月15日から2月3日まで行いました。新潟市を除いた開港4都市及び開港記念事業等を実施している34自治体にお送りして調査しました。配布枚数38通、回答数32、有効回答31通、回収率84.2パーセントという高い率になっております。回答先一覧については、4都市とその他の都市について34書いてありますが、時間の関係で省略させていただきます。素晴らしい内容だと自画自賛いたしますが、どうぞご利用のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

只今の三つの部会の報告についてご質問等がありますでしょうか。

肥田野委員お願いいたします。

(肥田野委員)

公募委員の肥田野です。

開港150周年記念事業についての説明ですけれども、3番目の目的の次世代育成という、調査の概要という部分、育成がこの中に盛り込まれているのでしょうか。

(藤田委員)

質問項目に入っております。私たちも実は夏休み期間で、私たち自身も「夏休み社会科体験『訪ねよう！北前船物語』』という題目で、小学生の子どもたちを対象に、親も同席して、3コースにわたり、次世代の子どもたちにも北前船時代の教育、遺産といったものを継続してもらうことを考えております。的確にどこに書いてあるかということに答えられず申し訳ないのですが、訴えておりますので、ご了解ください。

(議長)

肥田野委員よろしいでしょうか。

(肥田野委員)

今後の進め方なのですけれども、この後1年進めていくと思うのですけれども、具体的に子ども向けの教育というのはどの分野に入るのか、教えていただきたいと思っております。

(議長)

藤田委員お願いいたします。

(藤田委員)

アンケート調査の中のどの分野でということでしょうか。

(肥田野委員)

この中で、港というところにも次世代の育成をしていかなければいけないと思うのですけれども、例えば国語の教育ですと、コミュニティデザインの勉強をしてい

ますし、総合学習という部分でいえば、地域課題、地域魅力がトレンドになっていると思います。具体的に地域を勉強するということに盛り込んでいくというのが真の育成になっていくのではないかと思います。それをどのように具体的に進めていくのかということをお教えいただきたいということです。

(藤田委員)

素晴らしい質問をありがとうございます。実は、先ほど私どもも夏休みに子どもたちと一緒に夏休み社会科体験をすると言いましたが、その中にアンケート調査があります。そのアンケートを含めて、子どもの意見も含めて、必ず報告書を作っていきたいと思っております。私は以前、教育委員会に他の都市のように北前船に関する教育を独自に考えたりする計画はありますかという質問をしたことはありますが、一般的に、この教科書のここでやりますという提示は頂きましたけれども、特化して勉強するということはないのです。

(議長)

肥田野委員よろしいでしょうか。

(肥田野委員)

総合学習のところで、私も昨年度2校、携わったのですけれども、やはりどちらも共通点があったのが、座学という部分だと、子どもたちは、そのときはいいお話を聞いたという感覚は受けるのですけれども、子どもたちの意見を吸い上げると、やはり地域へ出て実際に触れたい。やはり、五感で感じるものがすごくよかったですと言っているのです。今の北前船の体験もすごくいいなと思えました。それを今後、総合学習や学習項目に盛り込んでいくのがこれからの未来の子どもたちを育てていくためにいい手法ではないかと思えましたので、意見として申し上げます。

(藤田委員)

そちらにいらっしゃる小島委員が日和山小学校でそういった体験をやっているのですが、参考までに説明していただけますか。

(小島委員)

今、肥田野委員が藤田委員に求めたものは、実際この部会としては、自分たちの部会がやったものを今後、学習のどこかの項目に、総合学習でも何でも入れていこうとか、そういったところまではまだいっていないのです。まず、この部会としては子どもたちに新潟が港町として栄え、北前船が来て、北前船のおかげで当時は栄えていたということを取りあえず子どもたちに知ってもらおうというのが発端です。

それとは別に、日和山としてというか、うちの校区には旧小澤家住宅もありますので、旧小澤家住宅に4年生が、その前までは入舟、栄、湊、豊照の4年生がお泊まりをして、旧小澤家で文化財を学び、北前船についても学びということをやっています。昨年も日和山小学校で1校泊まっていますが、今年度、もしかしたらまた広げていくかもしれない。中央公民館の方は来ていないのですけれども、旧小澤家と公民館の間ではそういった話にもなっています。私が「水辺とみなとのまち部会」に入ったのは、子どもたちが開港150周年に絶対関わるだろうということがあって、私自身もコーディネーターとして、これは「水辺とみなとのまち部会」に入らなければと思ったのです。地元ということもあるし、新潟市全体として開港150

周年を盛り上げるには、やはり子どもたちの力が大事だと思うので、そういった意味では、今回、部会でやる社会科見学がきっかけになって、中央区の子どもたちが北前船のことを知るきっかけになればということがあります。一歩進めばいいなと思っています。

(藤田委員)

肥田野委員、ありがとうございました。報告書の1ページの③、次世代の育成のところで、子ども向けの教育や演出などについて、今後も調査、実行、提案していくということで考えておりますので、この辺でご勘弁していただきたいと思いません。

(肥田野委員)

これは部会の話ではないかもしれないのですが、150周年というキーワードは皆さんが当事者になってくると思うので、先回、新潟西港の水辺まちづくり協議会にも出させてもらいまして、今日の新潟日報にも出ていると思うのですが、港関係者のほうから、港見学をする学校が非常に少なくなったと言っていましたので、もし、皆さんが地元を持ち帰り、情報として何かのきっかけになればと思います。そのような情報をいただきました。

(議長)

ありがとうございました。

皆さま、ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご説明していただきました報告書等につきまして、皆さまからご承認を頂きたいと思えます。いかがでしょうか。

(拍手)

(議長)

ありがとうございました。

(3) 平成27年度 中央区自治協議会提案事業 事業評価書について

(資料 議3-1 3-2 3-3)

(議長)

それでは、議事「(3) 平成27年度中央区自治協議会提案事業 事業評価書について」でございます。事業評価書とは、区自治協議会が自ら提案した事業について、地域課題等の選定から企画・提案・実施までを自ら評価し、改善点などを次年度以降の区自治協議会提案事業に生かすためのものがございます。昨年度行った提案事業について「拠点と賑わいのまち部会」、「人にやさしい暮らしのまち部会」、「水辺とみなとのまち部会」で事業評価書がまとまりましたので、それぞれご報告いただきます。なお、ご質問等がございましたら、三つの部会の報告後にまとめてお受けしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、「拠点と賑わいのまち部会」座長の浅野委員からご報告をお願いいたします。

①拠点と賑わいのまち部会

(浅野委員)

浅野でございます。

「拠点と賑わいのまち部会」が実施した提案事業の事業評価についてご報告いたします。資料議 3-1 をご覧ください。先ほど、提案事業についてご説明しましたが、中央区の活性化に向けた未来プランをまとめていこうと。「未来に備えた地域のにぎわい創出・活性化に向けた調査・検討」と題して2ヵ年事業で取り組んでいます。平成27年度の主な取組みとして、市民を対象にグループインタビューを実施しました。詳細は、資料下の実施内容をご覧ください。事業の評価としてはここに記載のとおりですが、開催したグループインタビューでは参加者24名に積極的に発言していただき、活発な話し合いができました。一人ひとりから地域のことや将来のまちづくりについて本音を聞くことができ、今後、未来のランドデザインを検討するうえで大変参考になりました。平成27年度「拠点と賑わいのまち部会」としての取組みは良好であったということでご報告申し上げます。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

次に、「人にやさしい暮らしのまち部会」座長の田村(勝)委員からご報告をお願いいたします。

②人にやさしい暮らしのまち部会

(田村(勝)委員)

「人にやさしい暮らしのまち部会」の事業名は「誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくり」に向けた調査・検討について報告をさせていただきたいと思っております。関連のテーマといたしまして、自助、共助、公助を調査・研究の対象とさせていただきます。平成27年度につきましては、その中の自助をテーマに、「わが家のチェックシート」の作成をさせていただいたわけですが、この件につきまして、先ほどパンフレットをお示ししまして説明させていただきました。事業の実績につきましては、「わが家のチェックシート」の作成及び配布にあたり区役所の関係課から講師をいただき勉強会を開催し、検討した結果、大分県佐伯市のチェックシートを参考に、中央区版「わが家のチェックシート」を作成したところでございます。このチェックシートを作成するにあっては、一つの班としてチェックシートを作成する班、もう一つは、区民への周知・啓発をする班ということで、2班に分け効率よく検討を進めた結果、前段申し上げましたチェックシートが完成したところでございます。今、地域課からそれぞれの自治会、町内会に配布してもらっているわけですが、作業の関係で若干遅れているところもございますので、その辺はご容赦いただきたいと思います。

それと併せまして、中央区には小学校が18、中学校が9つございますけれども、それぞれの委員が分担をしまして、各学校へお邪魔して、このチェックシートを活用いただけるような形でお願いに上がる段取りとなっております。事業の評価でございますけれども、部会で協議・検討を重ねることに、先ほど強調させていただきましたけれども、自助ができなければ共助へむすびつかないとの結論に至りました。自らが考え行動できなければ、他人を助けることができません。大規模災害

時はどのような状況下でも自らが瞬時にとるべき行動を判断し、臨機応変に対応しなければなりません。そういう意味合いで、「わが家のチェックシート」を作らせていただいたところでございます。その補完といたしまして、平成 28 年度から中央区だよりも、「わが家のチェックシート」のさらなる周知を図るため、防災ワンポイントを 24 回掲載することになったわけです。今月は 2 回掲載されておりますので、残り 22 回掲載されることとなりますので、お目通しいただければと思います。

その他といたしまして、提案事業以外の部会活動として、新潟大学人文学部の学生と自治・町内会について意見交換会を 2 回開催いたしました。自治・町内会について、若者ならではの柔軟な発想をこの機会を通して知ることができたわけでございます。今後の部会活動を進めるうえで大変有意義な内容になっています。最後に、老人憩いの家の利用者拡大のための改善策についても、健康福祉課の皆さん方と前向きな協議を重ねる中で、一定の改善がなされました。この場を借りて、この件につきまして厚く御礼を申し上げる次第でございます。以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。

次に、「水辺とみなとのまち部会」座長の藤田委員からご報告をお願いいたします。

③水辺とみなとのまち部会

(藤田委員)

藤田です。ご報告させていただきます。

平成 27 年度分実施の概要ですが、北前船にちなんだ歴史的文化遺産に一層の磨きをかけ、未来の新潟の新たなまちづくりに資するために、各種調査・研究を行ったということです。今年度は大きく二つありまして、一つは、3 年後の開港 150 年を見据え、開港 4 都市及び全国 34 都市の開港記念事業の調査を実施したと。二つ目は、情報ネットワークの確立のために、北前船のゆかりの地である下町（しもまち）地域コミュニティ協議会並びにまちづくり団体との情報交換会を行いました。実施実績というのは、150 周年記念の調査については、新潟市を除いた開港 4 都市及び 34 の他都市ということなのですが、期間は、今年 1 月 15 日から 2 月 3 日まで。調査方法は、郵送配布・郵送回収並びにメールで回答を頂きました。回収率は配布 38 のうち 32 回答で、84.2 パーセントでした。下町地域のコミュニティ協議会とまちづくり団体との情報交換会は、2 月 25 日の午後 2 時から、二葉コミュニティハウス 4 階の多目的ホールで行いました。9 団体、16 名の方からご参加いただきました。

評価ですが、開港 150 年のほうですが、設問事項について委員が繰り返し確認を行って、市民参加、その後のまちづくりという内容に沿った設定を行うことができたと考えております。回答では様々な実施内容、市民の主体的参加を促す工夫、あるいは、当該地の特色を出す方法など参考になるものが見られました。回収率も高く、この資料を参考に、3 年後に迎える開港 150 周年をあらゆる団体と市民が心を一つにできるよう、機運の醸成が必要と考えております。下町地域コミュニティ協議会とまちづくり団体との情報交換会では、2 年前の開催のときはうまくなかった

点があったのですが、それと比較して、開港 150 年に向けた取組みなど建設的な話が多く見られました。大変有意義なものであったと思っております。この情報交換会の継続性については必要という認識もあり、次回開催に向けて準備をしっかりしていきたいと。第 5 期は平成 27 年、平成 28 年度の 2 カ年ということもあり、平成 28 年度実施企画に向けて準備を進めているところですが、平成 27 年度実施事業も踏まえて、よりよい企画を実施していきたいと考えております。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

只今の三つの部会の報告につきましてご質問等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご説明いただいた事業評価について、皆さまからご承認を頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

(議 長)

ありがとうございました。

(4) 中央区自治協議会のさらなる活性化について (資料 議 4)

(議 長)

続きまして、議事「(4) 中央区自治協議会のさらなる活性化について」です。私からご説明させていただきます。

区自治協議会は、新潟市が政令指定都市に移行すると同時にスタートし、現在、第 5 期 10 年目を迎えております。これまで歴代の委員の皆さまには自治協議会の活動に大変ご尽力いただき、今日の基盤づくりを果たしていただきました。ご承知のとおり、自治協議会は地域課題の解決やまちづくりに向けて、地域と行政を結ぶ協働の要の役割を果たすことが期待されております。委員が地域課題を持ち寄り、課題解決に向けて話し合い、話し合った結果を選出母体へフィードバックするなど、地域と行政をつなぐ架け橋として活動することで、新潟市が目指す分権型協働都市の実現が図られるものと思います。そこで、自治協議会本来の役割をより一層果たして、自治協議会のさらなる活性化を図っていくため、総務運営会議で今後の会議運営について話し合いをいたしました。

資料議 4 をご覧ください。まず 1 点目「全体会議の内容を選出団体へしっかりと報告しましょう」です。これについては昨年も触れさせていただきました。コミュニティ協議会選出の第 1 号委員をはじめとしまして、多くの委員は各団体から選出された委員であり、地域課題等に対する地域住民の声を自治協議会に届け、または自治協議会の審議内容を地域へフィードバックしていく役割があります。そのために、毎月の全体会議の内容を可能な限り選出母体に報告していただく必要があるかと考えております。報告の一例として、具体的に委員が取り組んでいる例を参考までに記してみましたが、これによらず、それぞれの団体に適した方法で情報伝達を

していただければと考えております。これ以外の方法により報告している委員がおられましたら、後ほどご紹介いただけたらと思います。

次に 2 点目の「地域課題について、自由に話し合しましょう」です。皆さま、お忙しい中、地域団体の代表が集まる自治協議会をより効果的な協議の場にしていくためにも、各委員が地域課題について受け身ではなく、自主的に意見交換、情報交換をして行くことが望まれます。地域ごとに同様な課題を抱えていると思いますが、地域によっては既に解決に向け動いているところもあると思います。こうした各地域での課題や取組みを気軽に話し合い、それぞれの地域の参考にできれば、よりよい地域づくりにつながると考えました。

次に 3 点目の「区（市）への要望は自治協議会全体の意見として協議しましょう」です。地域課題の解決やまちづくりについて、区や市へ要望する場合には、委員個人の意見ではなく、新潟市の附属機関である中央区自治協議会の総意として取りまとめたうえで行っていく必要があると考えられます。そこで、委員の皆さまが自治協議会として意見をまとめ、要望をあげたいと内容があれば、以下に示した手続きに沿ってお申し出いただきたいと考えました。手続きの流れにつきましては、要望したい地域課題等、事務局である中央区地域課へ全体会議の 3 週間前までにお申し出いただきたいと思います。総務運営会議までの 2 週間の間に、提案者から内容の趣旨を総務運営会議の委員により確認させていただきます。その後、全体会議の 1 週間前の総務運営会議で全体会議の議題として取り上げるかどうか検討いたします。取り上げる場合には、全体会議で審議することになります。議題にしない場合は提案者にその旨について、事前にご説明をいたします。なお、3 週間前までに御提出いただけなかったものについては、翌月以降の全体会議での対象といたします。以上が要望事項に対する手続きの流れです。このほか、自治協議会委員個人の自由な発言については、これまでと同様、特に制限はございません。発言内容が委員個人による行政への要望事項の場合は、自治協議会の総意ではないことから、参考意見として取り扱うことにしたらどうかと考えました。

次に 4 点目の「その他」でございます。今後、自治協議会の中で委員同士がより自主的に、かつ活発に意見交換していけるよう、別紙の座席表（案）のとおりレイアウトを変更したいと考えました。机を委員で四方に囲い、行政の説明者席を設け、事務局以下行政関係者は委員席の後方に控えていただくことにしてみました。以上が中央区自治協議会のさらなる活性化について、総務運営会議で考えた案でございます。皆さまからご承認が得られれば、来月 5 月の自治協議会から実施したいと思いますが、いかがでしょうか。また、これまでの説明につきまして、ご質問等がありましたらお受けしたいと思います。よろしく願いいたします。

説明不足のところはありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、次回の自治協議会より変更していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 報告

（1）平成 28 年度 区教育ミーティングの実施について （資料 報 1）

(議 長)

次に、報告「(1) 平成 28 年度区教育ミーティングの実施について」でございます。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

教育総務課長の山本でございます。

自治協議会委員の皆さまにおかれましては、日ごろより本市行政に対しまして、多大なご協力、ご理解を賜り誠に感謝申し上げます。今後も皆さまのご意見を真摯に受け止めまして、本市教育行政の発展に寄与していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

平成 28 年度教育ミーティングの実施について資料報 1 でご説明いたします。本市では平成 26 年度から教育委員の区担当制を導入いたしまして、平成 27 年度から教育委員 2 名で担当をしております。お手数ですが、1 枚お捲りいただいて、A4 横の資料をご覧くださいと思います。各区を担当する教育委員は、記載のとおりでございます。中央区におかれましては、吉村委員、藤田委員ということで、昨年度と同様の組み合わせということでございます。この区担当教育委員の活動といたしましては、2 種類の教育ミーティングを実施しております。ミーティングの場において市及び区の教育情報を皆さまに提供させていただくとともに、区の実情や特性を把握いたしまして、市全体の教育の施策に生かしていきたいと考えております。

資料左側の部分、区教育ミーティングをご覧ください。今年度も昨年度に引き続きまして開催したいと考えております。開催にあたりましては、自治協議会の皆さまからご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。区教育ミーティングは年 2 回、1 回目は 6 月から 9 月までの間、2 回目が 10 月から翌 1 月までの間の自治協議会の会議開催日に合わせまして、1 時間 30 分以内で行いたいと考えております。参加者につきましては、1 回目は自治協議会の皆さま全体を対象にいたします。2 回目が教育を担当する部会を中心に行いたいと考えております。会議のテーマにつきましては、1 回目は教育委員会が進める全体的な本市教育施策につきまして皆さまに情報提供をさせていただき、ご意見をお伺いして、皆さまとともに意見交換をしていただきたいと思いますと考えています。2 回目につきましては、1 回目のご意見等も踏まえまして、部会の皆さまと区教育支援センターで調整のうえ決定させていただきたいと考えております。

なお、資料の右側、資料の 3 枚目についてです。3 枚目、A4 縦の資料をご覧くださいと思います。区担当教育委員のもう一つの活動におきましては、中学校区の教育ミーティングの実施内容を記載しております。こちらは区担当教育委員が中学校区単位で行っている取組みでございます。地域の皆さまからは、コミュニティ協議会の代表者の方などからご参加いただきたくと考えておりまして、自治協議会の皆さまにおかれましても、コミュニティ協議会の代表の方もおられるということでございますので、ご紹介させていただいたものでございます。ミーティングの実施予定校をお示ししてございます。開催のおりはご協力いただきたくと思いますので、あわせてお願いいたします。教育ミーティングの概要については以上でございます。

最後になりますが、第1回目の区教育ミーティングの日程につきましては、自治協議会会長とご相談のうえ、区教育支援センターを通じまして調整させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

(議 長)

ありがとうございました。

只今の説明につきましてご意見、ご質問等ありますでしょうか。

ありがとうございました。

(2) 部会からの報告について (資料報 2-1 2-2 2-3 2-4)

(議 長)

それでは、報告「(2) 部会からの報告について」でございます。「拠点と賑わいのまち部会」から順に報告をいただきます。報告は簡潔にお願いしたいと思います。なお、ご質問等がございましたら、すべての部会からの報告後にまとめてお受けしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、「拠点と賑わいのまち部会」座長の浅野委員からご報告をお願いいたします。

①拠点と賑わいのまち部会

(浅野委員)

浅野でございます。

3月25日の1時半から第10回の部会を開催しました。2名の欠席がありましたけれども、平成28年度の部会事業スケジュールの確認をいたしました。グループインタビューの開催や課題を検討しましたが、業務委託業者から調査結果について報告していただき、グループインタビュー参加者から出た意見等について、皆さんで協議しました。グループインタビューの調査結果報告書を基に、各自、活性化案を次回部会までに提出するというので、4月18日、平成28年度第1回の部会を開催しました。そのときに、前回のグループインタビューの12案の中から、各々の委員から選出していただきまして、それをこれから5案程度にまとめていきたいと思っております。以上です。

(議 長)

ありがとうございました。

続きまして、「人にやさしい暮らしのまち部会」座長の田村(勝)委員からご報告をお願いいたします。

②人にやさしい暮らしのまち部会

(田村(勝)委員)

「人にやさしい暮らしのまち部会」田村ですが、私からご報告させていただきます。

4月15日に17名中16名の委員をもって第1回の「人にやさしい暮らしのまち部会」を開催させていただきました。議題につきましては、市政さわやかトーク宅配便の中の「新潟市の防災体制について」ということで、危機管理防災局防災課か

らおいでいただきまして、それぞれの項目について研修をしたところでございます。「わが家のチェックシート」につきましては、自治・町内会の会長にお願いいたしまして、4月中には配布を完了する段取りになっております。この辺につきましては、ほぼ配布が完了しているという報告を受けております。中央区の小中学校へも情報提供しようということで、内部でいろいろと検討いたしまして、部会員でそれぞれ手分けをして小中学校へお伺いして、このチェックシートについて説明、啓発を行っていく予定になっております。各コミュニティ協議会の会長へも、このパンフレットを中央区の市民の皆さん方に届くようにということで、二重、三重のお願いということでコミュニティ協議会の会長にもお願いの文書を配布したところでございます。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、「水辺とみなとのまち部会」座長の藤田委員からご報告をお願いいたします。

③水辺とみなとのまち部会

(藤田委員)

藤田です。ご報告いたします。

会議内容及び決定事項、平成27年度の報告ですが、先ほどの評価報告の中で詳しく言いましたので、〇二つの部分については時間の関係で割愛しますので、お読みいただければと思います。新年度に入っの活動、その最大のテーマが、夏休み社会科体験『訪ねよう！北前船物語』であります。私どもは、この巡回コースをそれぞれ決めていたのですが、現地調査並びに訪問先との対面、意見調整等をしておりませんでしたので、新年度に入って、Aコース（日和山コース）について、4月4日月曜日、雨が降って、雨風のひどい日でしたけれどもやりました。もう一つ、Bコース（沼垂発酵コース）も同じ4日に行いました。それぞれの委員が参加したわけでありまして。Cコース（西大畑コース）は4月5日に行いました。天気がよかったです。視察した感想と訂正するところがいくつか出ました。Aコース（日和山コース）では、願随寺は開港との関わりが深く、大変重要な場所と思われるので、学ぶ時間を増やしたほうがいい。実は、時間割がしてあるのです。ここは15分、ここは30分、ここは40分という形で、それぞれ私どもが訪問する時間があつたのですが、それを見たうえで、全体の中で違うのではないかという意味で言っているわけです。時間を増やしたほうがいいところはないかと。新潟浅草観音堂についてです。これは赤坂町にあるのですが、浅草の浅草寺が開港5港に観音様を贈ったのです。それが新潟にも祀られているわけですが、この説明について、ガイドでさらっと通るのではなくて、もう少し時間の工夫をしたらどうですかという意見が出ました。

Bコース（沼垂発酵コース）というのは、最初に新潟市歴史博物館、旧新潟税関庁舎を必ず通って、北前船の話で一番大事な旧小澤家住宅、沼垂コースというのはそこを通ったうえで沼垂の発酵コースへ行くということです。時間がたくさんかかるもので、他コースより遅くなっているんで、時間配分をもう少し工夫してくださいと。沼垂白山神社と乙子神社はまとめて説明する方向で、真向かいにあるわけで

すから、短縮したらどうかと。今代司酒造、峰村醸造での土産、試食等が可能か要検討だという意見が出ました。C コース（西大畑コース）です。旧齋藤家の庭がとても立派で、庭についても説明の時間を入れたいということ。3 コースとも共通点であったのが、A コースと C コースの昼休み休憩所は、旧小澤家住宅を利用させていただく方向で進めると。昼食は、基本はお弁当にする方向だが、アレルギー等の対応は各家庭の対応で進めてもらいたいということが共通点として出ました。今後の課題で、巡回先の未訪問箇所があるのです。こちらが行っても向こうが休みの場合がありましたので、4 月 27 日水曜日午後から、私、藤田と外内委員、星野委員で回ると。参加する子どもたちに簡単なしおりを作るわけですが、田村委員、青木委員、大堀委員、関谷委員、豊嶋委員、星野委員がしおりを作成すると。募集要項の作成は私以下、外内委員、小島委員、大坂委員で今後決めていきます。この辺については後で報告があると思いますが、今日、この会議が終わった後に「水辺とみなとのまち部会」の方に残っていただきたいと思います。ご協力ください。よろしくお願いいたします。

（議 長）

ありがとうございました。

続きまして、「中央区自治協議会だより編集部会」副座長の関谷委員からご報告をお願いいたします。

（関谷委員）

資料報 2-4 をご覧ください。第 7 回「中央区自治協議会だより編集部会」の会議概要を説明いたします。日時と会場、出席者は記載のとおりですので、省かせていただきます。議題「特集号の内容について」ということで、事務局より、他の区の自治協議会だよりの紹介があり、それを検討しながら進めていきました。中央区自治協議会との相違点や特徴などについて確認をいたしました。紙面についての構成なのですけれども、形式、サイズ、ページ数、紙質や記事の内容等について検討を行っています。発行日は 7 月を予定しています。今日も写真を撮っていただいたようなのですが、そのときは皆さんにご協力をよろしくお願いいたしますと思います。

（議 長）

ありがとうございました。

只今のご報告につきましてご意見、ご質問等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（3）委員からの報告について （資料 報 3）

・新潟市防災会議

（議 長）

次に、報告「(3) 委員からの報告について」です。新潟市防災会議について、川崎委員からご報告をお願いいたします。

（川崎委員）

川崎です。ご報告いたします。

資料報 3 をご覧ください。平成 27 年度新潟市防災会議に出席してまいりまし

た。日時、会場、出席委員は記載のとおりです。議題として、(1)平成27年度新潟市地域防災計画修正案について。主な修正内容が、①H26 防災基礎調査の反映、②地区防災計画制度、③放置車両対策の強化、④検視・遺体安置対策の実効性向上、⑤避難所開設体制の見直しなど、約500項目の修正がありました。それが原案どおり修正されました。報告として、(1)新潟市国土強靱化地域計画 平成27年度進捗状況について説明がありました。①「足下の安心安全の」進捗状況。全体の進捗状況は98.2パーセントと予定どおり進んでいるそうです。起きてはならない最悪の事態ごとの主な施策の進捗状況①から⑯までありまして、耐震化、浸水対策率、ハザードマップ作成などいろいろな項目がありました。②「救援・代替機能の強化」の進捗状況。道路、港湾、空港、鉄道などの進捗状況の説明がありました。(2)平成27年度関係機関の防災対策の取組みについて報告がありました。①阿賀野川河川事務所では、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組みについて。②新潟地方気象台では、緊急速報メールによる気象等及び噴火に関する特別警報の配信を行っております。平成27年11月から取り組んでいるそうです。③一般社団法人新潟市歯科医師会では、歯科診療情報の標準化を進めております。④NPO 法人ワーキングウィメンズアソシエーションでは、新潟市から委託を受け、「市民発女性の視点で防災力アップ講座」を開設しております。小学校で子どもたちに防災教育や、働いていて避難訓練に参加できない女性たちを集めて防災訓練をやっているそうです。以上です。

(議長)

ありがとうございました。

只今の報告についてご質問等がありますでしょうか。

4 その他

(議長)

それでは、「その他」に移らせていただきます。委員の皆さまからご意見等がありましたらお願いします。三條委員お願いいたします。

(三條委員)

一時避難所について要望したいと思います。皆さんもご承知のとおり、私が所属する湊地区コミュニティ協議会においては、学校統合により旧湊小学校の校舎並びに体育館が老朽化のため今年度、解体が決まっております。そのため、避難所は二葉コミュニティハウスと西大畑にあります市教育相談センターに決められました。私どもは市と一緒に地域が作る避難計画に基づきまして、湊地区の各町内、自治会をA、B、Cの3地区に分け、C地区、私が所属している古町11町内会は西大畑の市教育相談センターに行くことに決まりました。ところが、湊地区コミュニティ協議会は中央区の中でも高齢化率ナンバー2ということですし、それに伴い、私たちの町内も非常に高齢化率が高いわけです。いざ避難するときになりますと、身体障がい者が六、七名おります。私は町内会長も兼ねておりますので、今、何かあったときに、町内をまとめて、その人たちをおぶうなり、簡易担架を作って運ぶなりするにしても、西大畑に行くには六、七百メートルあるわけです。私自身、とてもで

はないけれども、そこまで運びきれるかという自信がありません。

そこで私が考えたのは、すぐ向かいの西堀通には寺がたくさんあります。そこだったら百メートルもないところですので、一時的に避難できるのではないかと。また、町内の人たちをまとめて、そこまでなら何とか運べると考えました。たまたま私の同級生で僧侶がおりましたので相談したのです。そうしたら、三條、それは個人でやるのは難しいぞと。彼自身、下町に詳しいものですから、私がどのお寺に頼みに行くということはどういうふうに分かっていたと思うのです。宗派によって対応の仕方が違う。だから、個人で、町内会長としてお前が行っても、多分、いい返事はもらえないのではないかという話でした。彼いわく、もし、お前がそういうことを考えているのであれば、市なりあるいは区なりから、新潟市仏教協会に申し入れて、ある程度の了解を得てから行くべきだというアドバイスを頂きました。

私の町内ばかりではなくて、新潟市にはいろいろな寺院があちこちにあるわけですから、もしこのことが決まれば、非常に助かる町内も多々あると思うのです。できれば、市から仏教協会へ、一時避難を寺院で何とかしてくれということをお願いしていただければと思います。よろしくお願ひします。

(議 長)

ありがとうございました。

このお話は要望という形ですので、行政で検討していただいて、ご返答をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ほかにはいかがですか。大堀委員お願ひいたします。

(大堀委員)

浜浦小学校区コミュニティ協議会の大堀です。

資料議4についてお聞かせください。「中央区自治協議会のさらなる活性化について(案)」に座席表がありますけれども、これは、今の四角のものを、だいたい、私のこの辺から回るといふ座席表でよろしいわけですね。

(議 長)

委員で四方を囲みまして、これを見ていただきますと、真ん中あたりを空けまして、説明する方にこの席に移動していただいて、皆さんの顔が見えるようにしてお話し合いをしたいということでございます。

(大堀委員)

来月からこのスタイルということですね。説明者がいないときは。

(議 長)

説明者がいないときは空いております。

(大堀委員)

これをずっと踏襲していくわけですか。

(議 長)

先ほどご承認いただきましたので、5月から行いたいと思っております。

(大堀委員)

説明者のところにはテーブルがないわけですか。

(議 長)

テーブルは用意されます。図面を見ていただきますと色が濃くなっております

が、テーブルは用意しております。

(大堀委員)

区長を後ろにして失礼ではないのですか。いいのですか。分かりました。

今のところですけども、全体会議の内容を選出団体へしっかり報告しましょうということですが、あまりされていないということを前から聞いておりますけれども、私はしっかりやっているつもりですけども、しっかりやらないと、町内のほうからフィードバックがございませんということをお伝えしたいと思います。

(議 長)

ありがとうございます。

先ほども申し上げましたとおり、資料議4にある四角囲みのところに、取組みの一例とございますが、このほかにも、委員の方が工夫されて報告していらっしゃるところも多いかと思えます。また、ところによっては報告の場がないところもあるということも聞いておりますので、自治協議会といたしましては、コミュニティ協議会の会長をお願いをしていくという形をとりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ほかにありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、以上で、本日予定されておりました議事はすべて終了いたしました。これをもちまして、平成28年度第1回中央区自治協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでございました。

事務局から事務連絡をお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

次回の開催日程についてご連絡いたします。次回は5月27日金曜日午後3時から開催させていただきたいと思っております。会場は、今日と同じ市役所本館6階の講堂でございます。

本日は大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

5 閉会

傍 聴 者	4名
報道機関	1社